

## 2月21日計画部会：主な意見と対応

主な意見	対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夜間景観は季節感やウィークデイ、ウィークエンドで変化があってもよい。</li> </ul>	夜間景観形成方針の前文に追加
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大規模の規制も、地域によっては華やかにするのが有効。内容を事前に協議できる仕組みがよい。</li> </ul>	原則を基準に追加するが、地域でルールを定めれば、色や動きのある照明は可能とする。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体の方針としては、自分だけ目立たないようにという考えだと思いが、地域の状況に応じて柔軟に対応できるように。民間の自由なアイデアを規制しないように。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古谷さんと同意見。柔軟に運用できるか。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非常時の対応を文言として入れた方がよい。</li> </ul>	方針の前文に追加
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自宅近くも夜間に道が暗く防犯灯をつけたのはよいがまぶしい。グレアについても強調してほしい。</li> </ul>	光の質の向上で記述
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 方針には、目立たせる光ばかり書いてある印象</li> <li>・ 住居系はグレアのない、冷たい感じのない落ち着いた夜間照明が必要だし、メリハリ論と併せて抑制系の話も書くと良い。</li> </ul>	方針と⑥住居系で記述
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都は広域的な視点で取組を促す立場だと思うが、地域の個性に関し地元の区市町村との協調について記述があるとよい。</li> </ul>	方針2で区市町村、事業者との連携を記述
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飛行機や新幹線で東京に帰ってきたときの夜間照明。印象的に感じられるシークエンスな夜景。</li> </ul>	方針2で移動する視点も意識するよう記述
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少し距離をおいてライトアップを見る感じだが、少し違うスケールで歩いて繊細な都市の光を楽しめるように</li> </ul>	方針2で回遊して楽しめる光を記述
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討の背景に書いてある大規模な投影広告物の登場への対応は。</li> <li>・ イベント時への対応など第1章にも記載した方がよい。</li> </ul>	大規模投影広告物の扱いは広告審と足並みを揃える。3階を超える部分での掲出は地域ルールやただし書き対応。方針の前文に追加
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 景観法に基づく取組の隅田川の基準「夜間の景観を落ち着きあるものにするため、過度な照明を川に向けないようにする。」はこのままでよいのか。水辺のにぎわいの視点は。</li> </ul>	方針2⑤で記述し、橋りょう等のランドマークやテラスを目立たせるため基準は変更しない。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史的建造物は、公共も私有もある。地域まちづくりとの連携</li> </ul>	方針2③で記述
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幹線道路沿道の景観も、区境でチグハグにならないように。</li> </ul>	方針2④都市軸としての連続性を記述
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用語の定義（ライトアップのように対象を照らすもの、イルミネーションのように光源自体が発光するもの、投影広告物など）</li> </ul>	詳しくは手引きでの解説を検討